

＝ 中 ＝ 進む!! 川床中!!

長島町立川床中学校 便り

第12号

令和7年3月11日（火）



14人の巣立つ卒業生に向けて～協働～

校長 西元 ひとみ

例年以上に厳しく長く感じられた今年の冬の寒さもようやく和らぎ始めた中、14人の卒業生がいよいよ明日川床中を巣立ちます。卒業生だけでなく、在校生や先生方も卒業生との惜別の思いでいることと思います。今まで当たり前のように共に過ごした3年生の存在の大きさを感じる日々です。

3年生にとって心身ともに鍛えるこの時期に、様々な活動を通して周囲の人を気遣うことや繋がることの大切さ、自分を支えてくださる方々への感謝の気持ち、中学生として自分たちができることは何かと考え行動する力を培うことができたことと思います。是非、これから進む道でもその力を遺憾なく発揮し、心優しくたくましく生き抜くことを願っています。

川床校区は、小学校から、中には幼稚園やこども園から級友と共に過ごした人がほとんどです。ふるさとを同じくして共に学び合える友はかけがえのない存在です。これからも大切に絆を紡いでください。同時に、これから皆さんが進むステージは、新しい仲間や先生方との出会いです。そこで大事にしてほしいことが『他者と協働（＝互いの持ち味を生かし、弱点を補い合うことで、単独では困難な課題や目標を解決・達成すること）すること』です。刻々と変化する社会の中で、自分1人で対応できることには限界があります。他の人と補い合い協力して物事を進めることにより、一人ではできないことをやり遂げたり、大きな成果を生み出したりすることが可能になります。さらに、他者との関係の中で自分の新たな一面を発見することもあるでしょう。他者と協働するには、相手を尊重する心、共感力や信頼感、責任感、さらには思いやりや感謝の気持ちが必要です。

皆さんがこれからの人生を歩んでいく中で自分とは違う考え方の人、さらには世代や国を超えて多様な人々と協働し、何かを成し遂げる経験を重ねて、これからの予測不可能な社会を担うかけがえのない一人として、あなたらしくキラッと輝く人生を送ってください。

明日の卒業式で一人一人に卒業証書を手渡しますが、『卒業証書』の意味をしっかりと心に刻んでください。

【卒業証書】 中学校を卒業した証です。

【名前】 生命の誕生とともに与えられた最初の贈り物であり、皆さんの将来や生き方への家族の願いや思いが込められています。

【生年月日】 あなたの命が生まれた日。多くの人々の祝福を受けた日です。

【卒業番号】 第一回卒業生から繋がっている番号です。最高学年として自覚と責任をもち、学校行事や様々な活動を感動にあふれ思い出深いものにしてくれたことの『証』のあなただけの番号です。

3年生の保護者の皆様にお届けする学校便りは今回で最後となります。これまでの御理解・御協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。皆様の御健勝、卒業生の成長を心より御祈念申し上げます。

クラスマッチ

3月8日（土）、クラスマッチを実施しました。今年度も、バスケットボールとドッジボールをしました。全員が、全力プレーをみせていました。



※ 3月25日（火）18：30～ PTA送別会を大橋食堂で実施します。